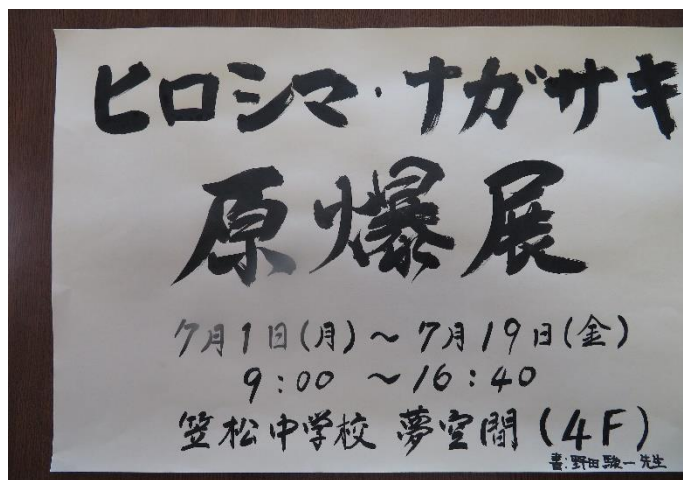


## ヒロシマ・ナガサキ原爆展 ありがとうございました。

7月19日(金)の期間に初めて「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」を笠松中学校で開催しました。保護者の方だけでなく、反響が広がり地域の方にたくさんご観覧いただきました。

多くの方から、感想メッセージをいただきましたので、ご紹介させていただき、お礼に代えさせていただきます。

【写真】ヒロシマ・ナガサキ原爆展の様子：笠松中学校・夢空間にて



### 感想メッセージ一部紹介

- ・ 1948年生まれの卒業生です。母校で原爆展を見ることができ、感動しています。私の父は、戦争中に呉(広島県)にいて、原爆投下で岐阜に戻ってきました。父からはあまり戦争の話は聞いていませんが、戦争は地球を滅ぼします。絶対にすべきものではないと確信しています。卒業以来初めて来ました。よい機会を与えていただきありがとうございました。
- ・ 初めてこのような多くの原爆の資料を見ることができました。ナガサキとヒロシマの人々はその被害にあい、資料を見ただけでもむなしさや絶望感を感じました。絵、写真を見ても女性、子ども真っ赤に染まってしまった身体、焦げてしまった身体など原爆の悲惨さや無差別に人を殺すような道具だということがわかりました。原爆も相当怖く、痛々しいものだと思いますが、人間の欲や考えの怖さも感じました。今ではだんだん原爆や大戦の事実を語れる人が少なくなっていました。二度と原爆も悲惨な戦争も起こさないように学ぶことが大切だと思いました。
- ・ この原爆展を見て、原爆だけでなく、戦争は本当にこの世界からなくすべきだと思った。戦争は無差別に人を殺し、命を奪うとても非人道的で、世界で今戦争が起きているのはよくないし、早く終わらせないといけない。特に原爆は女性や子供も関係なく殺し、人々に苦しみを与える。大量殺人・大量破壊を行う原爆は、この世にあってはならないものであると感じた。